

平成 14 年

第 1 回

ひと ひと

# 女と男の一行詩



応募総数  
73 点

🌟 最優秀賞

おれんじん、子育て苦楽、女と男。

森 隆さん

🌟 優秀賞

畑守る父母の背中に同じ汗。

山口君子さん

🌟 優秀賞

介護され、やっと出せたアリガトウ  
エプロンで拭く女と男の涙人生。

青山清子さん

入選

チラツと母見て

「こんな嫁になるなよ」と、

ボタン付しながら父は言ったっけ。

「大丈夫おとうさんに似た男（ひと）と

結婚したからさ」

入選

表札の文字が大きく見える妻の名前  
身体と態度もデカいよ。

入選

不足分 おぎないあいて 女と男。

入選

父には強いうちの母。

母には優しいうちの父。

入選

町内会、清掃作業はパ。パが出て  
ラジオ体操私達

新年会は、ママが出る

# 女と男の一行詩

佳作

単身赴任も悪くない、すっかり得意になった家事労働。

佳作

妻、残業 娘おぶって家事する夫、電信柱に蟬のよう。

佳作

お父さんのカレーは少し辛いけど、お母さんのと一味違っておいしーみ。

佳作

年下のあなたは男の人で、年上の私は女の子なんですね。

佳作

出勤前、お前はいいなの一言に じゃあ365日主夫やってみるっ。

佳作

「おい、切手くれ」「わたし郵便局じゃありません」

佳作

妻は言う「この頃お米を研ぐ音がリズムカルになったね、お父さん。」